

二分化することで起こる対人認知のズレ

(気仙沼高校・2年4組7番)

1. 目的

二分化することで起こる対人認知のズレの現状を明らかにする。

2. 仮説

- ・物事を二分化する風潮がある
- ・主観的イメージからなるバイアスがかかっている

➡決めつけによって苦労している・後悔している人が存在する

➡**対人認知のズレを減らす必要がある**
(悪い方向のズレが差別やいじめを生む可能性があるので)

3. 方法

調査 ① フィールドワーク

調査 ② アンケート

考察

4. 調査結果

調査結果① FW 東北工業大学 N先生

自己充足的予言

思い込みが結果的に現実になること。

ピグマリオン効果

期待された通りに成果を出そうとする傾向。(プラスの意を持つ)

ゴーレム効果

期待された通りに成果を出そうとする傾向。(マイナスの意を持つ)(渡邊 1994)

➡**決めつけからその通りの自分になってしまう可能性がある。**

5. 考察(まとめ)

■否定的な決めつけ(思い込み)からネガティブになる(逆の場合もある)
(調査結果①)

■偏見を持つ→対人認知にズレが生じる→第1印象と変わる→後悔するという流れができています (調査結果②)

➡**二分化されたものに対する印象・偏見が対人認知のズレを起している**
~今後~

■ピグマリオン効果やゴーレム効果の存在を認識させることで対人認知のズレを減らす方法を調査・考案する

4. 調査結果

調査結果②アンケート

対象: 気仙沼高校2年生
有効回答: 92名

Q1より
文系・理系、男性・女性という意見が多かった

Q2・Q6より
印象が変化している
⇒**対人認知のズレが生じている**

Q3より
悪い印象が良い印象に変わることの方が多い

Q3 その他の内容
■どちらもある
■悪い→もっと悪い 等

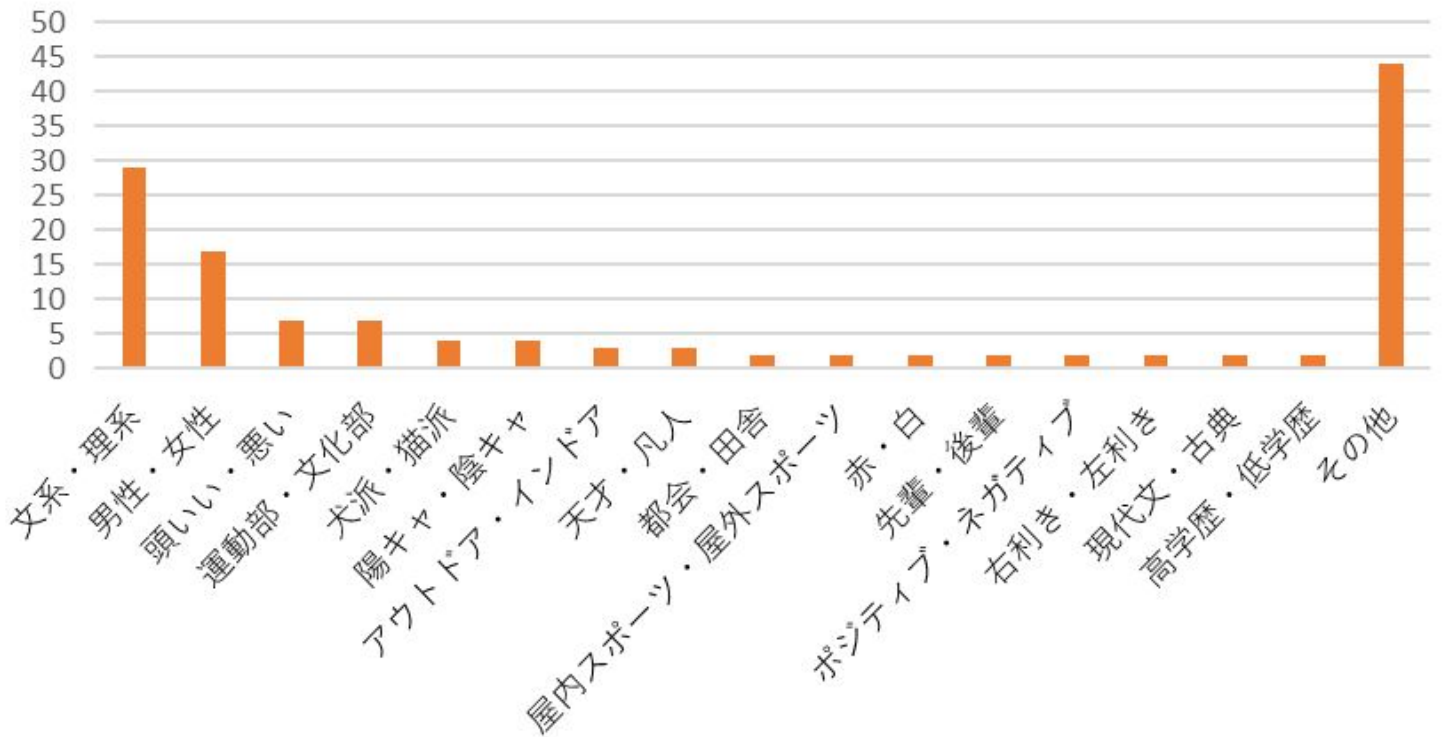
Q5より
経験があると回答した人の割合が高い
⇒**後悔している人がいる**

参考文献

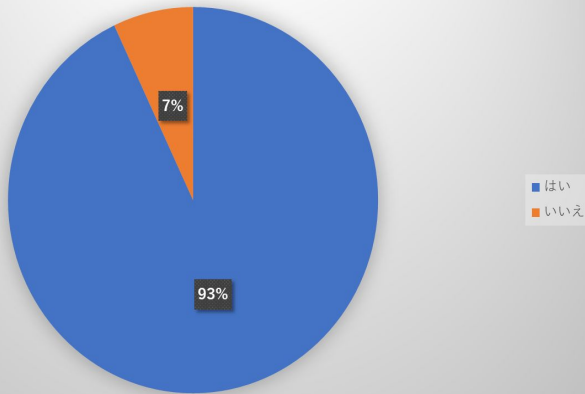
東北工業大学 准教授 N先生への聞き取り調査
『「教える行為」の秩序が及ぼす無意図的効果の問題』渡邊光雄.1994.学校経営研究(19):6-11.

アンケートの内容とそのグラフ

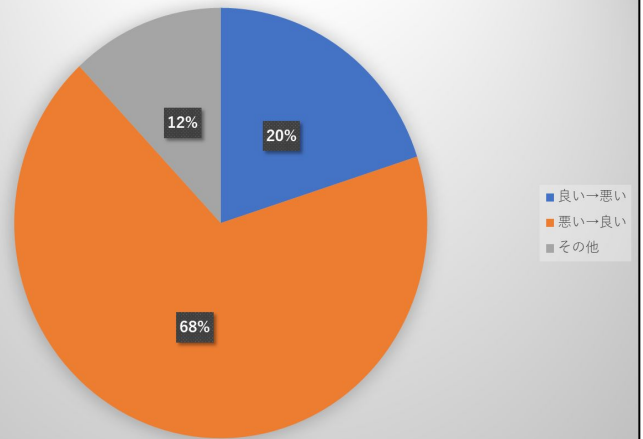
Q1 二分化されているものの例をあげて下さい



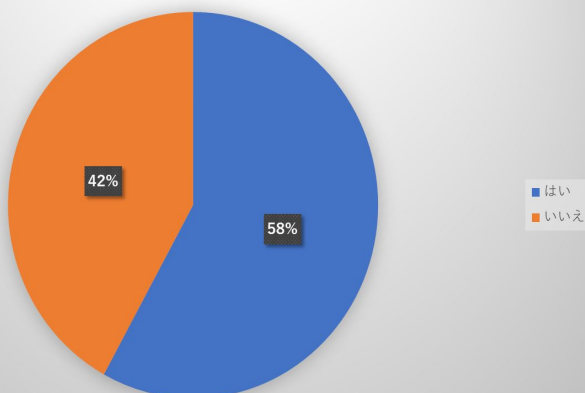
Q2 誰かに対する第1印象とその後の印象が変化した経験はありますか



Q3 どのように変化したか



Q5 偏見を持っていたことで失敗した経験はありますか



Q6 誰かに「そんなイメージなかった」と言われた経験はありますか

